



生坂村と共同で排水ポンプ車実働訓練を行います

千曲川河川事務所では、現在、排水ポンプ車（排水能力 毎分30トン）を6台配備し、洪水などの際には、地方公共団体等からの要請により現地に出動し、内水被害の軽減に努めています。このため、迅速にポンプを設営し排水作業を行うためには、日頃からの設営・排水訓練が不可欠であり、管内において定期的の実働訓練を行っています。

今回、千曲川河川事務所と生坂村の共同で下記により実働訓練を実施し、地域の皆様に訓練の様子を見学していただき、防災意識を高めていただくことと併せて、ポンプ車や照明車の概要説明等を行う予定です。

なお、本訓練には地元の方々はじめ、**生坂村長や生坂小学校の児童さんも見学される予定です。**

記

日時：平成22年7月21日（水） 14時00分～15時00分

場所：東筑摩郡 生坂村 北陸郷地先（日野橋下流）

訓練場所位置図



H21年9月に松本市で行った訓練状況



平成21年9月9日に松本市、奈良井川左岸の拾ヶ堰用水路で行われた実働訓練では、地域の皆様をはじめ、市町村関係者、地元消防団員の方々など約60名の方に見学いただきました。

参考資料 H21年9月9日松本市での訓練状況

生坂村からも同旨の記者発表が行われています。

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局

千曲川河川事務所 026(227)7611

副所長（技術）白井 正己

管理課長 塚田 誠一

昨年度の実働訓練状況（H21年9月9日 松本市での訓練）

参考資料



中信平で初めての訓練！ 松本市で排水ポンプ車実働訓練を行いました

今年も長野県内では、集中豪雨等による土砂崩れや床下浸水の被害が発生しており、地域の安全安心を求める住民の皆さんの声は、切実なものとなっています。

こうした状況から、千曲川河川事務所では、排水ポンプ車（毎分30トンの排水能力）を、管内に5台配備し、出水時などの内水被害の軽減に備えています。迅速にポンプを設営し、排水作業を行うためには、日頃からの設営・排水・撤去訓練が必要不可欠であり、定期的に訓練を実施しています。

このため9月9日（水）に、中信平では初となる松本市を訓練会場とし、奈良井川左岸の拾ヶ堰用水路にて訓練を行いました。



排水ポンプ車の性能や、配備目的を広く知ってもらうため、松本市などから訓練の見学を呼びかけていただいたところ、地元住民の皆様はじめ、渚町防署や地元消防団員、市町村の関係者や地元の方々など、約60名の方にご参加いただきました。



また、訓練には、菅谷松本市長も視察に訪れ、ポンプ車の排水能力と機動性に、高い関心を示されていました。また、住民の方々からも厚い信頼が寄せられ、訓練会場に展示した写真パネルで、過去の水害時の排水作業の様子などを興味深く見入っていました。



千曲川河川事務所では、今後も、地域の安全・安心のため、訓練の継続と、市町村などからの要請があれば、いつでも出動できる体制を整えて参ります。